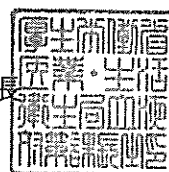




薬生血発 0220 第 2 号
平成 29 年 2 月 20 日

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課長



若年者を対象とした献血に関する正しい知識の普及について

献血の普及啓発につきましては、日頃より格段の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、献血に関する正しい知識の普及に資するため、中学生を対象としたポスターを作成し、各中学校（義務教育学校、中等教育学校及び特別支援学校を含む）あて直接送付することとしております。

つきましては、当該ポスターの積極的活用について、貴職より各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課、各都道府県私立学校主管課及び附属学校を置く国立大学法人事務局へ周知いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

また、日本赤十字社では、都道府県赤十字血液センター等への見学の受入れや、血液の専門家が学校へ出向いての勉強会等も行っており、これらも併せて御活用いただけるよう周知いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

なお、貴職から文書を発出いただいた後、当職より別添 1 のとおり各都道府県衛生主管部（局）長あて協力依頼通知を発出するとともに、別添 2 のとおり各中学校長あてポスターを発出することとしております。

薬生血発 第 号
平成 29 年 月 日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課長
(公 印 省 略)

若年者を対象とした献血に関する正しい知識の普及について

血液事業の推進につきましては、日頃より格段の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、献血に関する正しい知識の普及に資するため、中学生を対象としたポスターを作成し、各中学校（義務教育学校、中等教育学校及び特別支援学校を含む）あて直接送付することとしています。

中学校への配布に当たっては、別添のとおり文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課長から各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課、各都道府県私立学校主管課及び附属学校を置く国立大学法人事務局あてに通知が発出されておりますので、教育主管部局とも十分連携を取り、ポスターの活用及び献血に関する正しい知識の普及に特段の御配慮をお願いいたします。

なお、貴職あてに当該ポスターを別途送付いたしますので、貴都道府県庁内へ掲示していただくようよろしくお取り計らい願います。

各 中学校校長 殿

拝啓

献血の普及啓発につきましては、日頃より格段の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、近年の献血者数は、血液事業関係者の皆様の御尽力と国民の皆様の御理解と御協力により、平成 27 年度は、延べ約 488 万人の方々に献血の御協力をいただきました。

しかし、10 代（16 歳～19 歳）の若年層で見ると、15 年前の平成 12 年度には約 61 万人（献血率約 10.1%）であった献血者は、現在は約 26 万人（献血率約 5.4%）と減少しています。

厚生労働省では、少子高齢社会の進展も踏まえると、今後の血液事業を支えていくために、将来を担う子どもたちに献血について理解を深めていただくことが重要と考えており、その一環として、献血に関する正しい知識を中学生に普及させることを目的として、平成 17 年度より、「献血に関する正しい知識の普及啓発資材（中学生用ポスター）」を配布しております。

今般、同ポスターの平成 29 年度版が完成しましたので送付させていただきます。貴校における教育活動の一環として御活用いただければ幸いです。

また、日本赤十字社では、血液センターへの見学の受入れや、血液の専門家が学校へ出向いての勉強会・講演等も行っており、これらを併せて御活用いただくことにより、中学生の皆さんに血液事業を、より一層理解していただけるのではないかと考えております。詳細は、貴校所在の各都道府県の血液センターまでお問い合わせください。

今後とも、献血の普及啓発に格段の御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

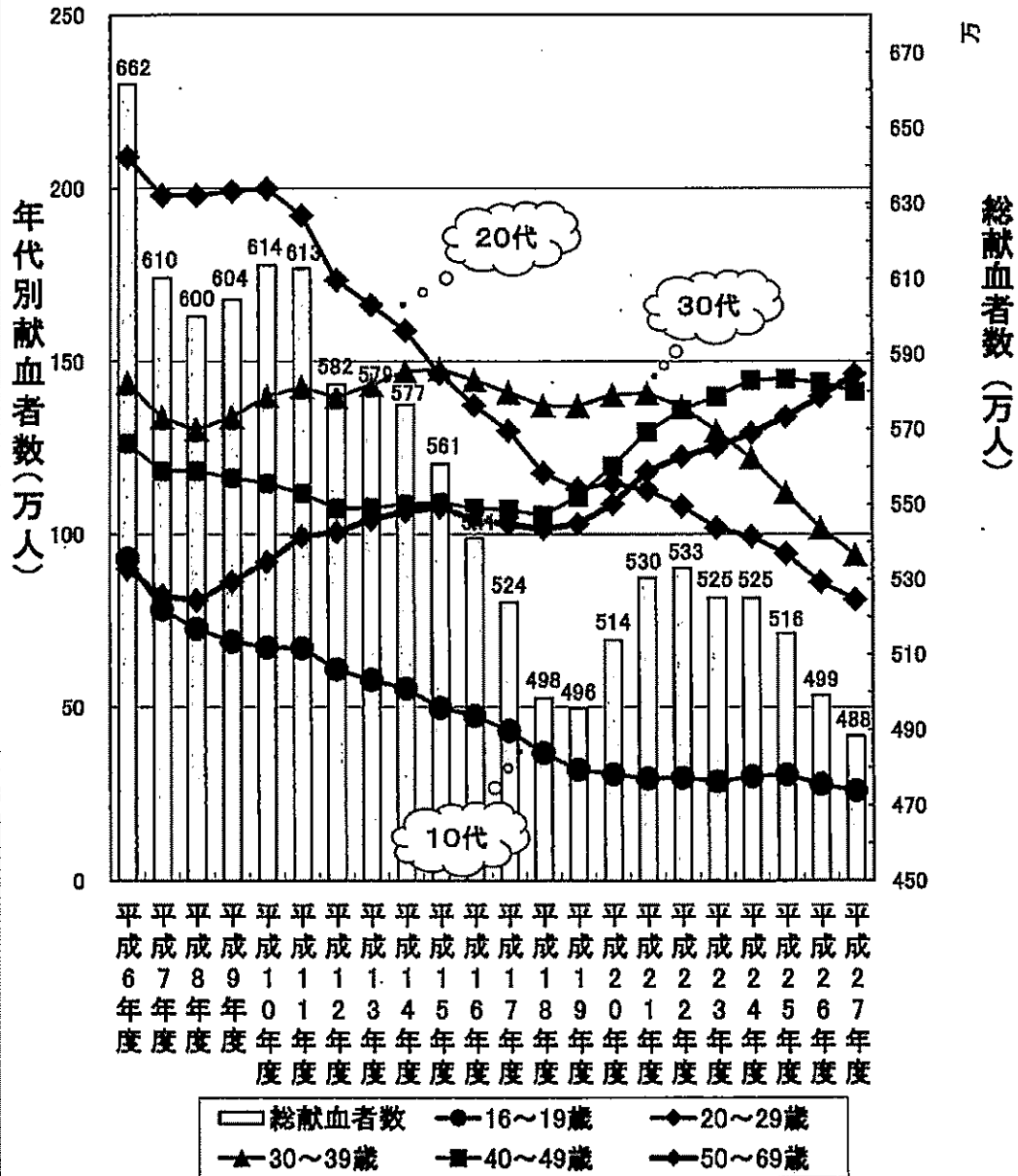
敬具

平成 29 年 月 日

厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課長

(参考資料)

献血者数の推移



みんなの
生きるちから、
生きようとする
いのちへ。

科学が進歩した現在でも、血液を人工的に造ることはできません。
みんなの生きる力を少しずつ分け合う献血で、今日もたくさんの生命が救われています。

献血は 命をつなぐ 助け合い